

第25回 議会報告会

『市民と議会のつどい』

◎ 日時 平成31年3月28日(木)

午後7時00分～午後8時30分

◎ 場所 アイプラザ半田 2階 研修室

19:00～ 議会報告会 開会

議長開会挨拶

19:05～ 各常任委員会報告

・総務委員会

・文教厚生委員会

・建設産業委員会

・その他

19:40～ 休憩

19:55～ 意見交換会

～20:30 議会報告会 閉会

副議長お礼挨拶



平成31年
3月定例会

総務委員会

主な所管

総務・企画
財政・防災
市立半田病院

P1

平成31年度 一般会計予算審査（防災交通課）

総務委員会①

◇公共交通対策事業

予算額/109,855千円

事業内容

地区路線バス「ごんくる」と幹線路線バスの運行

利用者の意見や市民ニーズの把握、話し合いの場を設け市民の皆さんと一緒に考え見直し、今年31年10月から本格運行を開始します。

・バス路線運行委託料（3路線）	55,721千円
・バスロケーション運用業務委託	2,920千円
・バス路線維持費補助金	29,203千円
・バス運賃差額補助金	16,257千円
・その他	5,754千円



質疑

（一部抜粋）

Q. 「ごんくる」を5か月施行して乗車率や路線拡充などを改善するための予算はどうなっていますか。

A. 地域交通会議の他、各地域に入って、ご意見を聞くようなこともしています。一定の方向性が見えれば補正予算を計上してでも取り組んでいきます。

P2

◇高齢者運転免許自主返納促進事業

予算額/6,910千円

事業内容 高齢者が運転免許を自主返納した場合の移動手段を支援することで、自主返納を促進し高齢者の運転操作誤りによる交通事故の低減をはかる。

質疑 (一部抜粋)

Q. 高齢者の声を聴いた結果でバス回数券とタクシーチケットにしたのでしょうか



A. あくまでも交通安全の観点で、高齢で運転が危険になることから免許の返納をされる事を促進するためのものです。

Q. 高齢者に優しく、生きがいの観点からメニューを増やす考えはあるのでしょうか



A. 事業のスタートで今後、返納して頂ける方たちとお話しすることで将来を見据えてどの様な方向性が良いか考えていきます。

P3

メモ

◇新病院を建設します

予算額/27,088千円

事業内容 新半田病院が運動公園東側に建設決定 (平成37年5月)

建設地を半田運動公園多目的グラウンドとして進めてきましたが、課題も多く新たな建設地として公園東側で協議を重ねた結果、取得の目的がつかまりましたので建設地を変更するものです。

市民の利点

- ・運動公園の敷地外に建設するため、運動公園の利用に影響がない。
- ・運動公園内で工事をしないため、運動公園の利用者に不便をかけない。

防災上の利点

- ・運動公園が指定されている「救援部隊活動拠点」の変更がない。

建設費抑制の項目

削減額 約12.4億円

- ・グラウンド代替地の整備費が不要 約3.6億円
- ・現グラウンドの解体費及び敷地造成費が不要 約5億円
- ・下水道の敷設距離が短縮 約0.3億円
- ・半田運動公園整備にかかる国庫補助金の返還が不要 約3.5億円



P4

メモ

平成31年
3月定例会

文教厚生委員会

主な所管

福祉・教育
健康・子育て支援



P5

平成31年度 一般会計予算審査

文教厚生委員会①

◇地域型保育事業(小規模保育事業)

予算額/1億7,886万7千円

事業内容

3歳未満児の保育ニーズに対応するため、地域型保育事業(小規模保育事業)の施設数を、現在の2施設から新たに2施設増やし、合計4施設にします。



施設名	開所年月	定員			
		0歳児	1歳児	2歳児	合計
花・はなベビーハウス	平成27年11月	6人	6人	6人	18人
おひさま保育園	平成28年4月	6人	6人	6人	18人
くれよん保育園	平成31年4月	6人	6人	6人	18人
わかば保育園	平成31年4月	6人	6人	6人	18人
合計		24人	24人	24人	72人

質疑

(一部抜粋)

Q. 今回、2施設増やすことで、待機児童は解消されますか。

A. 毎年、年度途中には待機児童が生じていますが、今回の2施設の増設と既存の保育園の拡大により、待機せず入園できる見込みです。

P6

◇いじめ・不登校対策事業

予算額／3,210万3千円

事業内容



「適応指導教室の運営」

指導員2名、教育相談員2名 ⇒ 3名にして、指導・相談体制を強化。

「スクールソーシャルワーカーの活用」

配置日 週4回 ⇒ 週5回にして、相談体制を強化。

「スクールカウンセラーの活用」

「心の教室相談員の活用」

「半田市子どもサポート会議を中心としたいじめ対策」等



質疑

(一部抜粋)

Q. 半田市の現状と、それを踏まえてどう取り組んでいきますか。

A. 昨年度から不登校児童が増加しているため、適応指導教室の教育相談員を1名増員し、各校の巡回や公民館等の分室に通っている児童生徒の指導や相談を行います。またスクールソーシャルワーカーを常勤とするなど、体制の拡充を図っていきます。

P7

メモ

◇コミュニティ・スクール推進事業

予算額／710万7千円

事業内容



「コミュニティ・スクール推進のための人材確保」

各校10名の推進委員、1名のコーディネーターを配置します。

「コミュニティ・スクール活動の紹介と啓発」

各校の活動を広く市民に紹介するため、特色ある活動を紹介する活動通信を作成し、配布します。

「コミュニティ・スクール活動の推進」

各校での学校支援活動を推進するための事業委託、また地域と学校の連名による事業提案を募集し、実施のための事業費を補助します。

質疑

(一部抜粋)

Q. なぜ、コミュニティ・スクール推進事業を行うのですか。

A. これまでの学校運営支援協議会の組織を活用し、地域に理解と連携、協力等を求めて一体となり、また新たな協力者を募ることで、地域ごとに特色のある「より良い学校づくり」を推進するためです。

P8

メモ

平成31年
3月定例会

建設産業委員会

主な所管

建設・環境
経済・観光・水道



P9

平成31年度 一般会計予算(市民課)

建設産業委員会①

◇パスポートセンターを開設します
予算額/1725万4千円 旅券発給事務事業

事業内容 クラシティ3階にパスポートセンターが開設されます。

3市3町(半田市、常滑市、高浜市、武豊町、阿久比町、南知多町)で負担金を出し合い、運営していきます。



質疑 (一部抜粋)

Q. クラシティで開設し、3市3町で運営していくメリットは？

A. 市民の利便性を損なわず、クラシティに開設することで、中心市街地への誘客促進にも寄与でき、広域実施により、事務費の削減を図ることができます。

Q. 各市町の負担割合は？

A. 人件費は、申請件数割で、設備費用等、客数に影響がない費用は各市町が均等割で負担します。

P10

- ◇ゴミ減量 1.公共資源回収ステーション開設 予算額 / 約4800万円
- ◇ゴミ減量 2.樹木を再資源化 予算額 / 約1100万円

事業内容 ゴミ減量のための資源化新規事業がスタートします。

- 1:毎週日曜日に公共の資源回収ステーションが設置されます。(隔週2か所)
- 2:樹木を堆肥やチップに変え、再資源化します。

廃棄物の減量化と新しい資源の再生

REUSE 再利用

RECYCLE 再生利用

質疑 (一部抜粋)

Q. 廃品回収がない地域もあり、資源がゴミで捨てられているが？

A. 市内2か所にそれぞれ隔週日曜日に開設することで、資源が排出できる環境を整えます。

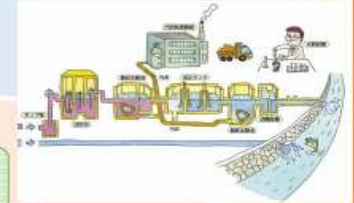
Q. 樹木は可燃ごみとして排出されている。資源化すべきでは？

A. 新たに樹木を再資源化し、可燃ごみ減量を図ります。

メモ

- ◇下水道 1.衣浦西部浄化センター広域化でコスト削減 予算額 / 負担金5億7千万円
- ◇下水道 2.接続率増加84.9% 予算額 / 下水道使用料収入約12億8千万円

事業内容 1. 汚泥処理広域化を愛知県下初実施する。
2. 接続率が84.9%に。



質疑 (一部抜粋)

Q. 今後の下水道課の期待できる取り組みは？

A. 衣浦西部浄化センター広域化で建設負担金約1億円、20年間のランニングコストを約6億円縮減できます。



Q. 接続率が増加(84.9%)したが、今後は？

A. 接続率1%上げるには1000件の申請が必要です。今後、個別訪問、マンション、集合住宅などへの直接訪問など、接続率向上に取り組めます。

メモ